



地方官ヲシテ通商司ヲ管セシムル議

地方官ノ任市政郡政ノニツニ在リ市政ノ職ハ市民ノ商業ヲ盛ニスルヨリ尚キナルハナシ現今通商司ニ委任スル所ノ權悉地方ノ任ナラザルハナシ物價平均流通ヲ計リ諸商株ヲ進退改正諸商社ヲ建ル等最モ市政ノ急務ナリ今ヤ割テ通商司ニ歸ス地方官拱干ノ傍觀最無謂ニ屬ス

朝廷通商司ヲ置テ通商ノ大權ヲ惣轄スニ通商ノ業ヲ講シテ

皇邦ノ一愛商國體トナサシム最方今ノ急務ナリ然レ

114  
A 440

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄



其地方ニ在ルモハ各地方官ニ委任外國事務ヲ地方官ニ委  
任其大權外務省ニ歸スルカ如クモ何ノ妨碍アリヤ地方官  
市民ヲ説諭商業ヲ盛ニ海外通商ニ導キトスルモ之ヲ指揮  
スルノ全權ナシ断シテ之ヲ行ハントスルモ權ヲ奪フノ嫌アリ協力同  
心熟議ニ出ントスルモ權一途ニ歸セズ是非紛々事一決セス  
左支右吾事業ニ施ス可ハカル亦自然ノ勢ナリ浪華  
ハ海陸便利從古萬化實福漢ノ地ナリ通商事務諸府  
縣ニ先ツテ天下ノ首唱トナラサルベカラス今日海外萬國ト  
併立日新開化ノ偉業ヲ起サントスルニ當テ通商ノ業隣  
國支那ニタテ延バズ坐ナカラ西洋校商ノ為メニ其利ヲ制

セラル、功齒ノ至ナリ「ホルラント」國ノ如キ其地形卑濕水平ヨ  
リ低キ數尺環國堤防ヲ築キ海水ノ衝入ヲ禦ク又沃饒  
耕スルキ土モ少ナリ然ニ水ニ數十ノ軍艦ヲ駁系キ陸ニ幾箇ノ  
砲臺ヲ連テ朝野繁華名ヲ四方ニ擅ニス此處ヲ他邦  
ニ分植シ其膏油ヲ以テ國光ヲ輝スニアリ我邦地形便利物  
産ノ富饒ヲ以テホルラントニ不及可恥ノ甚シキナリ地方官  
吏孜孜勉勵治下ノ商業ヲ起サシム第一急務ナラヌヤ願  
ク通商司ヲシテ外國事務ヲ當府ニ管スルカ如クナラシメ協  
力同心府下ノ民ヲシテ通商ノ業ヲ盛ニ天下ノ首唱タラシ  
テ然ル現令ノ有司其事ニ不堪ノ怨アラシ然リト至ル

通商ノ權地方ニ委任スルハ政府断然其人ヲ撰テ其官  
ヲ命スル此最良等ノ希望スル所也現今僅々有司賢  
愚ニ依テ其得失ヲ問ハス天下萬世為メニ公平至當ノ  
朝議ヲ願フ而已